

1 諮問の背景・概要

- 公共ブロードバンド移動通信システムは、災害等の現場において公共機関が機動的かつ確実な映像伝送を実現するため、地上テレビジョン放送のデジタル化により空き周波数帯となったVHF帯の一部(200MHz帯)に導入されたシステムであり、主に陸上での対向による映像伝送に利用されている。
- 一方、災害等の現場では、対向による伝送が困難な様々な地勢においても被災地の状況を多段中継により災害対策本部へ伝送するといった運用や、船上で撮影した映像を関係機関に伝送するなどの海上での運用ニーズが高まっている。
- このようなニーズに対応するため、公共ブロードバンド移動通信システムの多段中継伝送及び海上利用のための高度化に関する技術的条件について検討をお願いするものである。

2 検討事項

- 既存の公共ブロードバンド移動通信システム、隣接システムとの周波数共用を図りつつ、以下の事項の検討をお願いする。
 - 多段中継伝送に係る技術的条件
 - ・ 周波数有効利用を図るため現行システムのチャンネルを分割利用する中継方式の検討
 - ・ 隣接システムとの共用条件の検討 等
 - 海上での利用に係る技術的条件
 - ・ 海面反射を考慮したフェージングモデルの検討
 - ・ 船舶の揺れ等を考慮した伝搬距離特性の検討 等

3 答申を希望する時期

- 平成29年5月頃

4 答申が得られた時の行政上の措置

- 省令改正等、所要の制度整備を実施

